



平成28年9月20日  
海上保安庁

## 海外の海上保安実務者を対象とした「救難・環境防災コース」開催 ～研修開始以降、初となる国際基準への準拠～

海上保安庁は9月下旬から約2ヶ月間、海外の海上保安機関の職員を招へいし、各国の救難・環境防災体制の強化を目的とする集団研修を実施します。

本年度は研修開始以降初めて、国際海事機関（IMO）のモデルコースに準拠した油防除対応者向けの研修を実施するなど内容の充実を図っています。

本研修は昭和57年から実施され、昨年までにアジア諸国を中心に64カ国2地域から491名の研修参加者を受け入れています。本年度は9月26日から11月18日までの8週間、8カ国20名の海上保安機関職員を招へいします。

本年度から研修内容の更なる充実のために、捜索救助のシステム管理、油防除にかかる初動対応、現場指揮について、IMOの定めるモデルコースに準じた研修を実施いたします。

過去の研修生の中には、帰国後、自国海上保安機関の実動部隊指揮官（船長）となり、現場第一線に立って油防除作業の指揮を担う等、組織の中核として活躍している者もいます。

本研修の受講者の出身国は以下のとおりです。

- 受講者：8カ国20名（うち女性2名）  
インドネシア：4、マレーシア：3、フィリピン：3、スリランカ：4、ベトナム：2、フィジー：1、ジブチ：2、モーリシャス：1

主な研修内容は別紙を参照してください。

### ※IMOモデルコース

IMOの各加盟国が国際条約やIMO勧告等の技術的要件を満たすために必要な教育訓練を実施するに当たり、モデルとなるコースプラン、教材、詳細なシラバス等の訓練カリキュラムを示したもの。

＜主な研修内容＞

- (1) 搜索救助、海上防災、環境保全等に関する講義
- (2) 海上保安庁の施設及び巡視船艇・航空機を使用した実地研修
- (3) 海上防災等に関する施設の視察

～過去の実施例～



写真1 搜索救助通信訓練



写真2 油・水質分析実習



写真3 オイルフェンス展張実習